

動作法東北ネットワーク JAPAN 2024 年次（岩手）大会

動作法は、1960年代に成瀬悟策先生によって開発され、半世紀以上にわたり、臨床実践及び研究が進められ、発展を続けてきました。はじめは脳性マヒの方々の肢体不自由の改善が目的でした。その後、知的障がいや発達障がいによる心理面や生活上の困難の改善、災害等による過剰なストレスが招いた心理的不調に対する支援、精神科領域やスポーツ選手への適用、教育現場におけるストレスマネジメント、高齢者の健康増進、育児支援方法等、その対象は多岐にわたってきております。

さてこの数年、新型コロナウイルス感染症の流行により、人類は生活の変化を余儀なくされ、それに伴って新たなストレスとも戦い続けることになりました。動作法もさまざまな制約の中での活動となりましたが、その本質は大切にしつつ、感染対策を徹底した実施や、オンライン動作法の導入など、新たな工夫を積み重ねながら今日に至っております。

そこで今大会では、「ストレス社会を動作法とともに生きる」をテーマとし、実践上のさまざまな工夫について共有しながら、変わり続ける現代をよりよく生きるために動作法に何ができるかについて探っていきたいと考えております。

なお今回は対面のみで開催とし、数年ぶりに交流会も行います。動作法の醍醐味でもある、こころとからだを通したアナログな繋がりを再び取り戻す時間を創っていききたいと考えております。

成瀬悟策先生の生誕 100 周年となる 2024 年の本大会が、皆様にとって有意義な学びの場となることを願っております。

1. 期 日 2024 年 6 月 30 日（日） 対面による開催

2. 会 場 北上市総合福祉センター

〒024-0012 岩手県北上市常盤台 2-1-63

電話 0197-64-1212

3. 日 程

9:30 開会行事

9:40 シンポジウム「ストレス社会を動作法とともに生きる」

話題提供 五十嵐徹氏、宮崎昭氏、青山正紀氏

指定討論 吉川吉美氏

11:00 休憩

11:10 実技指導

講師 五十嵐徹氏

12:00 昼食休憩

13:00 話題提供 「就学前障害幼児への臨床動作法へのかかわり」

尚絅学院大学 三好敏之（宮城）

「訓練会 before-after ～コロナ禍、そして、これから」

山形県立ゆきわり養護学校 斎藤 博之

コメンテーター 宮崎昭氏、吉川吉美氏

14:30 閉会行事